

望まない受動喫煙防止に向けて

喫煙制限、喫煙マナーについて考えましょう

健康増進法改正に伴い、施設などでの喫煙制限が強化されます。子どもたちへの受動喫煙の防止やたばこの煙を吸いたくない人への配慮できる環境づくりを目指しましょう。

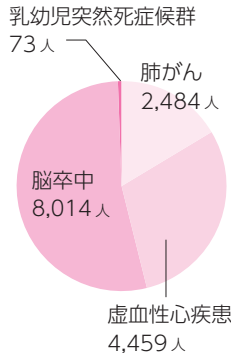
● 普通のたばこから電子たばこに変えたメーカーによってはタールゼロとうたっているものもありますが、健康への安全性は立証されていません。

● 家の中で吸うと煙がこもるので、ベランダで吸う
ベランダで吸うと一見迷惑がかかっていないように思いますが、洗濯物や布団に煙がついたり、煙が風に乗って近隣の家の中まで入ってしまうことがあります。

これは気遣い？
O or X

日本の受動喫煙による年間死亡数推計値

約15,000人



他の人が吸っているたばこの煙を吸うことを受動喫煙といいます。本人が吸ったばこの煙（主流煙）より、たばこの先から出る煙（副流煙）のほうが有害なため、本人よりも周囲の人の健康に悪影響を与えます。日本では、受動喫煙が原因で年間約1万5千人が亡くなっていると推定されています。受動喫煙を防止する現実が求められています。

7月から多数の人が利用する施設などでの喫煙制限が強化（義務化）されます

7月1日から
原則敷地内禁煙



行政機関



病院



バス・タクシー



学校

※施設管理権限者が屋外の一部に必要な措置を講じた特定屋外喫煙場所を設置した場合を除く



令和2年
4月1日から
原則屋内禁煙



娯楽施設



会社などの
事務所



電車



商店

※施設管理権限者が室内に国が指定する基準を満たす喫煙専用室を設置した場合を除く

詳しくは、厚生労働省ホームページへ

厚労省 受動喫煙 防止

検索